

令和2年度

事業報告書
及び附属明細書

公益財団法人相模原市産業振興財団

令和2年度 事業報告書

新型コロナウイルスの感染拡大から1年以上が経過していますが、世界各地で依然として猛威を振るっており、日本においても2度の緊急事態宣言が発出されました。多くの国々で1日当たりの感染者数は減少傾向にありますが、収束の見込みは立っていません。ワクチン接種による有効性は確認されているものの、変異株が世界各地に広がるなど予断を許さない状況にあります。

人の移動が制限される中、オンラインによる商談や会議が活発化し新たなビジネスのあり方が浸透しつつあります。

また、事業環境の変化に合わせ、新製品の開発や新事業分野への進出など柔軟な対応ができている企業ほど業績の回復が早くなっており、変化を転機と捉え、顧客のニーズや自社の強みに着目し、自社のみならず外部の経営資源をも活用しつつ事業を見直すことが重要となっています。

さらに、予てより課題となっている経営者の高齢化の進行に加え、感染症の影響もあり、2020年の廃業件数は過去最多となっています。一方で、その中には長年培ってきた技術力で高い利益を生み出す企業も存在しており、こうした企業の経営資源を活かしていくことも重要となっています。

このような状況下、多くの展示会、イベント等が中止となったことから、当初の計画変更を行わざるを得ない事業もありました。市内産業の活性化を十分に図る機会を逸失したものもありましたが、少しでも市内企業者の支援ができるよう、令和2年度にはコーディネーターによるものづくり企業への支援や相談等は、181社に対して延べ530回の支援を行いました。

また、令和元年度から5年間の指定管理者として受託した市立産業会館の運営において、施設の利用促進に努めるとともに、コロナ禍でも安心して利用できる環境の維持を図りました。

1 令和2年度事業実績の概要

(1) 中小企業経営の安定と発展に向けた事業の実施

ア ものづくり企業総合支援事業

財団のコーディネーターが製造業を中心とした市内中小企業を訪問し、経営の状況や課題等の聞き取りを行い、製品・技術開発、販路開拓、海外進出等、事業者が抱える経営課題に対し、必要に応じて専門家も活用しながら、解決のための具体的な支援を行った。

令和2年度は、新型コロナウイルスの拡大による訪問辞退や感染防止の観点から、新規の訪問企業数が前年度実績に比べ大幅な減少となった。

訪問・面談活動の概要

訪問（面談）企業数	181社	（前年279社）
うち新規訪問企業数	17社	（前年141社）
延べ面談回数	530回	（前年524回）
専門家派遣回数	9社／31回	

イ 相模原市トライアル発注認定製品出展事業

相模原市が認定した令和元年度・令和2年度トライアル発注認定製品の販路開拓支援として、テクニカルショウヨコハマ2021に参加した。

テクニカルショウヨコハマ2021

日程：令和3年2月15日（月）～26日（金）

会場：オンライン開催

アクセス数：55,162名（前年来場者数32,995名）



テクニカルショウヨコハマ2021（画面コピー）

ウ 九都県市合同商談会

九都県市（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市）共催による合同商談会の企画・運営に参画し、より広域的な企業間での販路開拓の支援を行った。

事業名：九都県市合同商談マッチング2021

開催日：令和3年2月15日（月）～2月26日（金）

会場：オンライン開催

開催事務局：埼玉県

参加企業数：発注側企業 94社（うち相模原市3社）

受注側企業 236社（うち相模原市8社）

商談回数：1,041回

エ 国内見本市出展助成事業

市内中小企業の販路開拓を支援するため、国内で開催される見本市に出展する際の経費の一部助成を行った。

助成実績

助成企業数：16社（前年60社）

助成金額合計：2,222千円 / 1社平均：138千円

（前年7,066千円 / 1社平均：117千円）

オ 海外見本市出展助成事業

市内中小企業の海外進出を支援するため、海外で開催される見本市に出展する際の経費の一部助成を行った。

助成実績

助成企業数：1社（前年10社）

助成金額合計：157千円

（前年1,837千円 / 1社平均：183千円）

カ 相模原市制度融資事務事業

市内中小企業に向けた相模原市制度融資に係る事務を受託・実施し、中小企業の円滑な資金調達を支援した。

(ア) 融資申請受付件数	870件
a 景気対策特別資金	156件
b 中小企業信用保険法第2条第5項第5号・7号	714件
c 資金繰り円滑化借り換え資金	0件
d 特別融資（地球温暖化防止支援資金）	0件
(イ) 融資残高の照会	724件

キ 産学連携事業の推進

大学や公設試等の研究機関との産学連携による研究開発や技術開発を促進するため、共同研究等に必要な費用の一部補助を行った。

相模原市産学連携スタート支援補助金制度

交付企業数 : 3社

交付金額合計 : 563千円 (1社平均 : 187千円)

連携する大学 : 芝浦工業大学、拓殖大学、東京都立大学

ク 商業・サービス業企業活性化事業

新型コロナの影響により、サービス業向け補助金の申請書作成支援を実施するほか、固定資産税軽減措置や給付金申請に伴う確認等の支援を行った。

財団職員による個別訪問による販路開拓支援等 17社

(製造小売業4件、飲食業3件、不動産業2件、医療業2件、他)

ケ 事業承継支援事業

少子高齢化の進行や生産年齢人口の減少、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、市内企業において「事業承継」が大きな課題として表面化してきている。この課題解決に向けて市内企業に対してセミナーを開催した。

実施日 : 令和3年3月24日(水)

会場 : オンライン開催

テーマ : 「今日から始める、事業承継の第一歩」

講師 : さくらみらい会計事務所 公認会計士・税理士 舟生俊博氏

参加者 : 15名

(2) 産業人材の確保・育成事業の実施

中小企業工業団体活動促進事業

市内中小企業工業団体の育成及び活動の促進により市内工業の振興を図ることを目的として、団体が実施する事業に要する経費に対し補助金を交付した。

交付件数 : 4団体

交付金額 : 192千円 (1団体平均 48千円)

(3) 国際化の促進や産業経済情報の収集・提供に関する事業の実施

ア 外国人受入体制構築事業

ものづくり企業のための「高度人材受入セミナー」(オンライン開催)

実施日 : 令和3年3月18日(木)

講演1 : 「高度外国人材の活躍が企業にもたらすメリットとは」

講師 : 日本貿易振興機構(ジェトロ) 門畑 宏氏

講演 2 : 「外国人材の定着にむけた留意点」

講 師 : (株)リード・エス 代表取締役 須賀 保博 氏

参加者 : 24名

イ 産業経済情報の提供

生産性向上支援セミナー (会 場 : 相模原市立産業会館)

「メンバーの自律を促す対話手法セミナー」

実施日 : 令和 2 年 8 月 27 日 (木)

講 師 : 川田 隆也 氏 ((株)ジェック インストラクター)

参加者 : 16名

「1日でわかる・できるOJTの進め方」

実施日 : 令和 2 年 10 月 28 日 (水)

講師 : 松嶋 清秀 氏 ((株)Mx E コンサルティング 代表取締役)

参加人数 : 11名

「決算書の読み方セミナー」

実施日 : 令和 3 年 2 月 12 日 (金)

講 師 : 福岡 宣行 氏 (産業能率大学総合研究所 研究員)

参加者 : 19名

ウ インターネット情報提供事業

財団のオンラインサイトを活用して財団事業の広報を行うほか、国、県等の施策、イベント・セミナー等の案内、地域の企業情報やビジネスニュース等市内の事業者には有益な産業関連情報の提供を行った。

また、月 2 回のメールマガジンの配信を行って、市や各産業支援機関等から提供される支援施策や各種イベント等に関する情報、地域のビジネス関連情報等の提供を行った。

さらに、フェイスブックページでは財団が主催するセミナーや各種イベントのお知らせの他、当日の実施風景や担当者のコメント等も掲載し、手軽な双方向のコミュニケーションツールとして活用して、より身近で親しみやすい情報の提供を行った。

(ア) オンラインサイトのアクセス件数

年間アクセス数 : 34, 168件

(イ) さがみはら産業あるある情報

年間アクセス数 : 281, 502件

登録事業所数 : 1, 858件

新規登録 : 46件

(ウ) メールマガジンの配信

配信回数： 26回（うち臨時配信2回） 配信先数：1,053先

(エ) フェイスブックページの運営

情報の発信：113件 年間閲覧数：21,514件

(4) 創業及び新事業創出の支援に関する事業の実施

ア 創業・起業総合支援事業

創業を目指す、あるいは創業後間もない人などを対象に、個別相談会と創業に必要な知識の習得のためのセミナーを開催し、相模原市における起業と起業後の成長を支援した。

(ア) 創業相談会

原則、毎月2～5日間（年間34日、1日4コマ） 全コマ数：136回
相談実施回数 83回（稼働率 61.0%）

※新型コロナウイルス感染症の影響により、4月～6月は中止

7月よりオンライン形式にて相談を実施。

相談内容：事業化の可能性・事業計画、設立の手続き、資金調達・助成金等
実施委託：(株)コンセライズ



創業セミナー リーフレット



創業相談会 リーフレット

(イ) セミナーの開催

創業相談会の実施を委託する株式会社コンセライズの相談員（中小企業診断士）を講師とし、セミナーと相談会の連携による相乗効果を図った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、集合形式によるセミナー

開催は困難なことから、前期は中止。後期よりオンライン形式にて実施した。

① 創業入門セミナー

	内 容	実 施 日	参加者
前期	相模原市創業支援 丸ごと解説セミナー	令和2年 5月14日(木)	中止
後期	相模原市創業支援 丸ごと解説セミナー	令和2年 9月19日(土)	8名

② 創業実践セミナー

	内 容	実 施 日	参加者
第1期	事業の始め方セミナー	令和2年 5月21日(木)	中止
	事業計画書の書き方セミナー(前半)	令和2年 6月 4日(木)	中止
	事業計画書の書き方セミナー(後半)	令和2年 6月11日(木)	中止
	プロモーションセミナー	令和2年 6月18日(木)	中止
	成果の出るホームページと SNS活用セミナー	令和2年 7月 9日(木)	中止
	相手に響く自社PRセミナー	令和2年 7月16日(木)	中止
第2期	事業の始め方セミナー	令和2年 9月26日(土)	5名
	事業計画書の書き方セミナー(前半)	令和2年10月10日(土)	8名
	事業計画書の書き方セミナー(後半)	令和2年10月17日(土)	7名
	プロモーションセミナー	令和2年10月31日(土)	8名
	成果の出るホームページと SNS活用セミナー	令和2年11月 7日(土)	9名
	相手に響く自社PRセミナー	令和2年11月21日(土)	7名

③ 創業ピンポイントセミナー

	内 容	実 施 日	参加者
前期	ホームページ自分で作る! ワードプレスセミナー	令和2年 7月30日(木)	中止
後期	会計と確定申告入門セミナー	令和2年11月28日(土)	2名
	ホームページ自分で作る! ワードプレスセミナー	令和2年12月 5日(土)	4名

(ウ) 女性のための創業サロン

起業に何となく興味がある、具体的な起業に向かって動き出している、または、すでに起業して間もない女性を対象に、女性が創業し、事業を継続していくことに対する不安や悩みを少しでも解消すること及び参加者同士の関係づくりを目的として、セミナー・交流会・ワークショップを実施した。

実施日：1回目：令和2年12月12日（土）10時から15時

2回目：令和3年 1月14日（木）10時から13時

会場：1回目：相模原市立産業会館

2回目：オンライン開催

内容：i)ワークショップ

「SNS活用で顧客の心をつかむセルフプロモーション戦略★」

～これからの時代を生き抜く起業家が知っておくべき

セルフプロモーション戦略とは？～

講師：小室 梨佳氏 (AZOOM PR 代表)

ii)ランチ交流会（1回目のみ開催）

iii)参加型セミナー

「環境変化に左右されず売り上げをアップ！」

オンライン集客の仕組みをつくろう」

講師：井手 美由樹氏 ((株)Ideal Works 代表取締役・中小企業診断士)

参加者：33名（第1回 15名、第2回 18名）



募集リーフレット



当日の様子

(エ) 特定創業支援事業による証明書の発行にかかる支援実績

市への報告書提出件数：7件

※特定創業支援事業：市が交付する証明書により、株式会社を設立する際の登録免許税の軽減措置などの特例が適用される。

<申請要件>

- ① 創業相談会に1カ月以上継続して4回以上参加した場合
- ② 創業実践セミナーに4回以上参加した場合
- ③ 創業相談会と創業実践セミナーを組合せて1カ月以上継続して4回以上参加した場合

イ SOHO支援事業

自宅等を仕事場として事業を行うSOHO（スモールオフィス・ホームオフィス）事業者を対象とした受発注システム「SOHOスクエア」の管理・運営、情報提供等を行った。

(ア) 「相模原SOHOスクエア」（業務受発注システム）の管理・運営

登録会員数：240名

OS会員（発注案件の発信） 31社

(イ) 情報の提供

メールマガジン「SOHOスクエア事務局だより」の配信（10回）

(ウ) セミナー・交流会の実施

実施日：令和3年3月6日（土）（オンライン開催）

テーマ：「キラめく ★ 私の夢 実現」

講演：ビジネスで成功する人の「数字」の使い方

講師：深沢 真太郎氏（BMコンサルティング(株)代表取締役）

参加者：21名

ウ コミュニティビジネス推進事業

地域で抱える課題やニーズをビジネスの手法（有償サービス）により解決・実現していくコミュニティビジネスの普及・啓発や、起業の支援、育成を図るため相談会の開催や、セミナーの開催、情報交換や交流の場の提供を相模原市から受託して行った。

(ア) 「CB相談会」（会場：財団事務所ほか）

開催回数：12回（毎月第3火曜日他）

相談件数：25件

相談回数：60回

(イ) コミュニティビジネスに関する情報交換会

地域プロデューサーの育成に向けては、更なる広いネットワークづくりや連携が不可欠であることから、さがみはら地域プロデューサー養成講座の受講者を対象にした交流会を開催した。

タイトル：さがみはら地域プロデューサー養成講座 交流サロン

日 時：令和2年10月31日（土）

会 場：相模原市立産業会館

参加者：参加者17名

(ウ) セミナーの開催

① さがみはら地域プロデューサー入門講座

実施日：令和2年9月12日（土）

会 場：相模原市立産業会館

内 容：講 演：「相模原の果物と野菜で作る本格イタリアンジェラート」

講 師：塩田 恵美 氏 (Megu Gelato)

講 座：「コミュニティビジネスの基礎知識と

地域プロデューサーの役割」

講 師：久保 均 氏

(岩手県アンテナショップ Natural Essay 代表)

事例紹介：「外出サポート “わっか” の20年のあゆみ」

講 師：若林 恵子 氏

(特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブ わっか代表)

参加者：24名

② さがみはら地域プロデューサー養成講座（6回シリーズ）

講 師：久保 均 氏 (岩手県アンテナショップ Natural Essay 代表)

会 場：相模原市立産業会館

参加者：合計44名（うち修了者5名）

	内 容	実 施 日	参加人数
第1回	地域プロデューサーの役割を学ぶ	令和2年10月3日（土）	8名
第2回	地域をデザインする	令和2年10月3日（土）	9名
第3回	実践者から学ぶ〔現場見学会〕	令和2年10月10日（土）	6名
第4回	持続可能な仕組みをつくる	令和2年10月17日（土）	8名
第5回	アイデアを整理し、事業計画書をつくる	令和2年10月17日（土）	8名
第6回	思いを伝える	令和2年10月31日（土）	5名



当日の様子



見学会

さがみはら
コミュニティビジネス

さがみはら
コミュニティビジネス

さがみはら
コミュニティビジネス

地域にある様々な資源や人の知識、経験、スキルなどを活かして、地域やコミュニティを活性化させるコミュニティビジネスの立ち上げを学ぶ「地域プロデューサー養成講座」
まずはコミュニティビジネスの基礎と地域プロデューサーの役割を学ぶ入門講座からご参加ください。

📍 養成講座の場所は、
お名前を記入してください

〒242-0291 相模原市中央区中央3-12-1

相模原市立産業会館特別会議室
定員：30名(申込順) 参加費：無料

📅 講座
コミュニティビジネスの基礎知識と
地域プロデューサーの役割
志事 芳子さん
"Natural Essay" 久原 均さん

📅 活動紹介
外出サポート「わっか」の20名のあゆみ
相模原市立産業会館の「わっか」プロジェクト
わっか 志事 芳子さん
いつでも、だれでも自由に活動できる機会を創出し、買い物や外出、観光などの支援が得意な、見守りサービスなど、市民から課題や要望への対応も積極的に行なっています。これまでに20名の活動を振り返ってお知らせいたします。

地域プロデューサー養成講座
募集リーフレット

(エ) 情報の提供

- i) オンラインサイトによる情報発信
- ii) メールマガジンの配信 (1回、登録先数 263先)
- iii) ダイレクトメール発信 (1回、登録先数 100先)
- iv) フェイスブックによる発信(24回)

(5) 地域経済の振興に関する事業の実施

ア 産業会館運営事業

令和元年度から5年間の指定管理者の指定を受けた相模原市立産業会館の運営においては、会館施設設備の貸出業務と設備保守、警備、清掃業務等を行い、施設の利用促進と、良好な利用環境の維持を図った。

特にコロナ禍でも、安全で安心して会館を利用出来るように手指用アルコール

ル消毒器や換気用大型扇風機を各施設に設置し、エレベータ等のスイッチ類の消毒や換気を実施した。

	令和元年度	令和2年度	増 減
利 用 率	42.3%	40.1%	2.2ポイント減
利 用 人 数	83,111人	30,508人	△52,603人
利用料収入	18,406千円	12,052千円	△6,354千円

新型コロナウイルス感染症拡大による影響

・貸館休止期間の増加

令和2年4月 1日から6月18日（2階～4階）

令和2年4月 1日から7月 9日（1階～地下1階）

令和3年1月13日から3月21日（全館）

・利用状況への影響

令和元年度と比べ、利用人数で63.3%、利用料収入で34.5%の減少となっている。新型コロナウイルスの影響がない平成30年度比では、利用人数で69.2%、利用料収入で51.5%の減少となっている。

イ さがみはらの銘菓・名産品

財団オンラインサイトの「相模原の銘菓・名産品」サイトを運営し、市内で製造・販売される特色ある食品等、銘菓名産品の情報発信を行った。

令和2年度末 紹介登録件数：52件

ウ 地域企業情報の発信

相模原市内を中心に企業動向や地域の産業・経済に関する情報をかながわ経済新聞の協力により、「地域企業情報」として財団のオンラインサイト上で発信した。

令和2年度の発信件数：21件

2 役職員に関する事項

(1) 役員等の異動（敬称略）

異動年月日	役 職	就 任	退 任
令和2年4月1日	理 事	谷 圭介	—
		若林 和彦	—
	評議員	鈴木由美子	—
令和2年6月10日	理 事	依田 真美	川合マリ子
		山口 伸治	甲斐 美利
	評議員	久保 誠	山崎 利宏
		中村 太郎	上原 泰久
		中臺 博	阿部 毅
		大内 紀知	石津 昌平
令和2年12月7日	評議員	池田 亨	若林 浩之

(2) 役員名簿（令和3年3月31日現在）

役 職	氏 名	現 職 等
理 事 長	杉岡 芳樹	相模原商工会議所 会頭
常務理事	谷 圭介	公益財団法人相模原市産業振興財団 常勤役員
理 事	若林 和彦	相模原市 環境経済局 経済部長
理 事	山口 伸治	大島機工(株) 代表取締役社長
理 事	依田 真美	相模女子大学大学院社会起業研究科 准教授
理 事	橋元 雅敏	(株)さがみはら産業創造センター 代表取締役社長
理 事	佐々木 一彦	(株)きらぼし銀行本店営業部 公共・政策法人部部长
監 事	天野 俊裕	天野俊裕税理士事務所 代表 税理士
監 事	八木 博	公益財団法人相模原市まち・みどり公社 常務理事

(3) 評議員名簿 (令和3年3月31日現在)

氏 名	現 職 等
鈴木 由美子	相模原市 環境経済局長
梅澤 道雄	相模原商工会議所 専務理事
久保 誠	(株)オーエイ 代表取締役社長
北澤 芳恵	(株)ユウキ工業 代表取締役社長
中村 太郎	株式会社中村書店 専務取締役
池田 亨	(株)横浜銀行模原駅前支店 支店長
中臺 博	フードコミュニティ 代表
大内 紀知	青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授
石井 トシ子	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら 代表理事

(4) 事務局 (令和3年3月31日現在)

職 員	3名
嘱託職員	6名
契約職員	4名
臨時職員	16名
他機関から出向	1名
計	30名

3 理事会・評議員会

(1) 理事会

回	開催日	理事 現在数	出席者数	議決事項等
第1回	令和2年 5月26日(火)	7名	議決権行使者数： 4名 監事：2名	議案第1号 令和元年度事業報告及び決算について 議案第2号 理事候補の推薦について 議案第3号 監事候補の推薦について 議案第4号 評議員候補の推薦について 議案第5号 定時評議員会の招集について
第2回	令和2年 6月10日(水)	7名	みなし決議	議案第1号 代表理事1名の選定の件 議案第2号 常務理事1名の選定の件
第3回	令和2年 11月17日(火)	7名	議決権行使者数： 7名 監事：2名	議案第1号 令和2年度事業計画書及び収支予算書 の変更について 議案第2号 事業承継支援事業の実施について 議案第3号 評議員候補の推薦について 議案第4号 評議員会の招集について 報告事項 令和2年度上期業務報告について
第4回	令和3年 3月30日(火)	7名	議決権行使者数： 7名 監事：2名	議案第1号 令和3年度事業計画及び収支予算(案) について 議案第2号 監事候補の推薦について 議案第3号 評議員会の招集について 報告事項1 令和2年度下期業務報告について 報告事項2 ものづくり企業総合支援事業コーディネーターの採用について

(2) 評議員会

回	開催日	評議員 現在数	出席者数	議決事項等
第1回	令2元年 6月10日(水)	9名	議決権行使者数： 8名 監事：2名 理事：2名	議案第1号 令和元年度事業報告及び決算について 議案第2号 理事の選任について 議案第3号 監事の選任について 議案第4号 評議員の選任について
第2回	令和2年 12月7日(月)	9名	議決権行使者数： 8名 監事：2名 理事：2名	議案第1号 評議員会会長の選出について 議案第2号 評議員の選任について 報告事項1 令和2年度事業計画書及び収支予算書 の変更について 報告事項2 事業承継支援事業の実施について 報告事項3 令和2年度上期事業報告について

附属明細書

令和2年度事業は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しません。